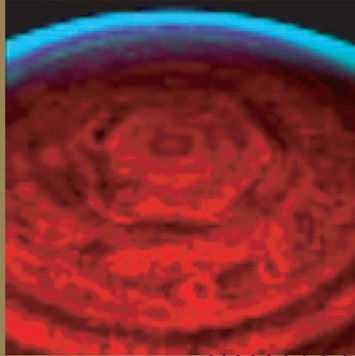


渦巻きは 神であつた



六角形のうずまきの謎
3月、無人探査機「カッシーニ」が撮影した、土星の北極上空を覆う六角形の渦状構造の画像を公開した。80年に米探査機「ボイジャー」が発見したもので、26年後の現在も残っている。NASAは地球の極地方で形成される低気圧の一種に似たものと推測しているが、六つの辺が安定的に維持されている理由は分かっていない。
幅約2万5000キロ。垂直方向は100キロほど大気内に伸び、反時計回りに回転している。NASAは何故隠していたのか、どういう意味があるのか、大谷氏が答える。



※毎日新聞掲載記事より抜粋



古代史の謎二部作
4月同時発表！
大谷幸市著（古代史家）
A5判並製カバー 298頁
1冊2800円＋税→2500円で購入できます

5月5日
大谷幸市氏
出版記念講演会
午後6時受付
無料

縄文・うさぎで
縄文うずまきの謎に迫る
渦巻きの語る古代史とは？
縄文文様が物語ることは、何か？
縄文土器にメビウスの文様？
前方後円墳、八角墳の謎とは？
渦巻きは神であつた！
今、その秘密のベールが
ここに解き明かされる。
縄文うずまきの世界を
縄文・うさぎで
あなたも垣間見てみませんか？

縄文・うさぎへのご案内図



●著者・大谷幸市氏プロフィール
1943年生まれ、少年期を渥美半島で過ごす。
著書に「古代史を解く三角形」「国づくり神話と大和三山」「古事記に隠された古代史」「古代渦巻文の謎」などがある。「古代史の海」同人。「考古学文献を読む会」会員。現在、北名古屋市長在任。
<http://www.joumon-uzumaki.com>

●プログラム（当日は有志ボランティアによる運営）
開場；午後6時 講演：午後6時30分より
ティータイムをはさんで午後8時30分まで。
図表をまじえてお話していただきます。

縄文・うさぎ

名古屋市緑区鳴海町前之輪45番地 TEL/FAX (052) 625-7558
■JR大高駅～歩7分（名駅～大高駅/約14分）
■名鉄鳴海駅～歩12分

定員30名
お申込・お問い合わせ
E-mail: info@joumon-uzumaki.com